NTT docomo

フォトパネル 02

ISSUE DATE: '09.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

目次／注意事項

ご使用前の確認

基本の操作

表示する写真の変更

表示レイアウトの変更

SDカードの利用

設定の変更

付録／困ったときには

索引

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「フォトパネル 02」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「ドコモお便りフォトサポートセンター」までお問い合わせください。
フォトパネル 02はお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

本体のご使用にあたって

- 本体は無線を使用しているため、地下・建物の中などで電波の届かない所、およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- 本体は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- 本体のFOMA通信は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA communication for the FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO.
- お客様ご自身で本体に登録された写真やメッセージなどは、SDカードに保存したり、メモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本体の故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  -「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
  ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、本体を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは、異なる場合があります。
- 本書では、画像および画像データを「写真」と表記させていただいております。
- 本書では、「フォトパネル 02」を「本体」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

機能やサービスの探しかた

本書では、次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から→P.88
● 機能やサービスの名称から探します。

表紙インデックスから→表紙
● 表紙右端のインデックスを利用して探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から→P.4
● 機能や目的ごとに分類された目次から探します。

メニュー一覧から→P.74
● 本体のメニュー項目から探します。

「索引」「表紙インデックス」からの引きかたを、端末初期化を例として説明します。

索引から→P.88

機能やサービスの名称から、以下のように探します。

タ

タッチボタン 15
操作の表記 17
端末初期化 72
電源
入れる 22
切る 22

表紙インデックスから→表紙

以下のように、「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に使用したい機能やサービスを探します。

設定の変更

写真の切り替え効果を変更する ..... ＜エフェクト効果＞ 62
写真の切り替え間隔を変更する ..... ＜切り替え間隔＞ 64
スライドショー表示の順番をランダムに変更する ..... ＜再生順＞ 65
画面の消灯／点灯時間を設定する ..... ＜省電力モード時間設定＞ 66
画面の明るさを調整する ..... ＜バックライトの明るさ＞ 68
本体の情報を確認する ..... ＜本体情報表示＞ 69
本体の各設定をお買い上げ時の状態に戻す ..... ＜設定リセット＞ 71
登録されているデータを一括して削除する ..... ＜端末初期化＞ 72

※本文中のページとは内容が異なります。

機能名称などを記載しています。

端末初期化

登録されているデータを一括して削除する

本体に保存されている写真やメッセージなどをすべて削除して、各設定をお買い上げ時の状態に戻します。削除したデータは、元に戻すことができませんのでご注意ください。

- お買い上げ時に保存されている本体の使いかたを紹介する画像は削除されません。

各手順での操作を表しています。

1 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示されます。

各手順を操作する際のポイントとなる画面を表します。

2 ＜/＞ をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

設定の変更

インデックスから章ごとに検索できます。

3 ∧/∨ と OK で「端末初期化」→「はい」を順に選択する

各機能を利用するときに必要な内容、注意事項や参考になる内容を記載しています。

4 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- 初期化が完了するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

※本文中のページとは内容が異なります。

ページ番号

目次

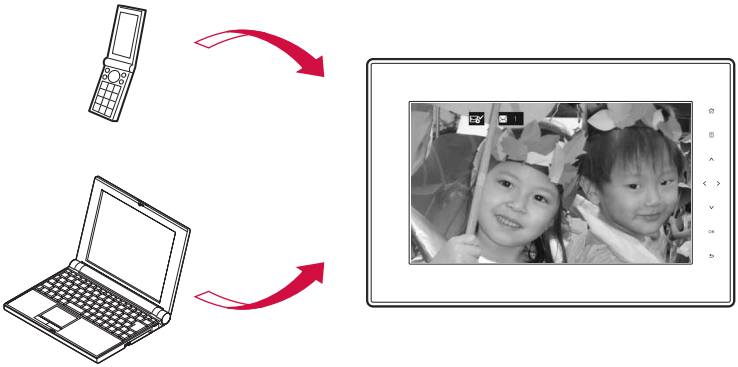
本書の見かた／引きかた …… 1
目次 …… 4
フォトパネル 02の主な機能 …… 5
安全上のご注意 …… 6
取り扱い上のご注意 …… 10
本体付属品および主なオプション品 …… 12

ご使用前の確認　P.13	各部の名称と機能、メニューの選択方法、FOMAカードを使う、フォトパネルを設置する、電源を入れる／切る、電波の受信レベルを確認する、自分の電話番号を確認する
基本の操作　P.25	受け取った写真を確認する、スライドショーを一時停止／再開する、次の写真／1つ前の写真を表示する、写真を回転する、写真を拡大して表示する、写真を削除する　など
表示する写真の変更 P.35	本体内のすべての写真を表示する、お気に入りの写真を表示する、送信者別に写真を表示する、お便りフォトサイト指定写真を表示する、配信コンテンツを表示する、ドコモからのお知らせを表示する
表示レイアウトの変更 P.43	ディスプレイのレイアウトを変更する、時計を設定する、カレンダーで週の始まる曜日を設定する
SDカードの利用 P.49	SDカードについて、SDカードを取り付ける／取り外す、SDカード内写真を表示する、SDカードから本体へ写真をコピー／移動する、本体からSDカードへ写真をコピー／移動する　など
設定の変更　P.61	写真の切り替え効果を変更する、写真の切り替え間隔を変更する、スライドショー表示の順番をランダムに変更する、画面の消灯／点灯時間を設定する、画面の明るさを調整する　など
付録／困ったときには P.73	メニュー一覧、故障かな？と思ったら、こんな表示が出たら、保証とアフターサービス、ソフトウェアを更新する、主な仕様、輸出管理規制、知的財産権
索引　P.87	索引

フォトパネル 02の主な機能

携帯電話やパソコンから送られてきた写真やメッセージをかんたんに表示できます。

受け取った写真を確認する　→P.26



写真と一緒に時計（アナログ／デジタル）またはカレンダーを表示できます。

ディスプレイのレイアウトを変更する　→P.44

写真を自動的に切り替えて表示します。

スライドショーを一時停止／再開する
→P.28

SDカードに保存されている写真を表示できます。

SDカード内写真を表示する　→P.52

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本体、ACアダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）…… 7
2. 本体の取り扱いについて …… 7
3. ACアダプタの取り扱いについて …… 8
4. FOMAカードの取り扱いについて …… 8
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて …… 9

1.本体、ACアダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

本体に使用するACアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、本体やその他の機器を発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本体、ACアダプタやFOMAカードを入れないでください。

本体やACアダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

機器の故障、火災の原因となります。

禁止

接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本体の電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。

2. 本体の電源を切る。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

2.本体の取り扱いについて

⚠警告

禁止

本体やメモリカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本体の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本体の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本体の内部にご注意ください。

誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
メモリカードスロット（端子部分）	銅合金	金メッキ
FOMAカードスロット（端子部分）		−
接続端子		
スタンド	PC+ABS	塗装

3.ACアダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

ACアダプタの電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタは風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、本体、ACアダプタには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントにつながれた状態でコネクタの端子をショートさせないでください。また、コネクタの端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタを安定した場所に置いてください。また、ACアダプタを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

本体が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

ACアダプタの電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。

ACアダプタ：AC100V-240V

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントから抜く場合は、ACアダプタの電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となります。

4.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本体を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本体の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本体の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本体の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本体は22cm以上離して使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  本体、ACアダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本体などに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- **本体、ACアダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

本体についてのお願い

- **タッチボタンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
  タッチボタンが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本体に登録された写真やメッセージなどは、SDカードに保存したり、メモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本体を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、本体は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常はFOMA カードスロットのキャップをはめた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **SDカードの使用中は、SDカードを取り外したり、本体の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **本体に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

ACアダプタについてのお願い

- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、接続端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- **FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**
- **使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **極端な高温・低温は避けてください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本体に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

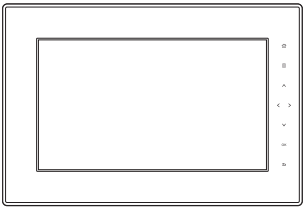
注意

- **改造された本体は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本体は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊣」が本体の銘版シールに表示されております。本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

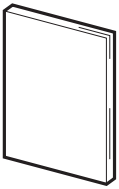
本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

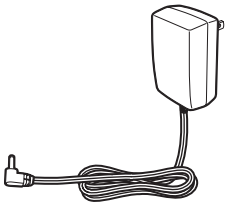
フォトパネル 02
（保証書含む）



取扱説明書
（本書）



フォトパネルACアダプタ 02
（保証書含む）



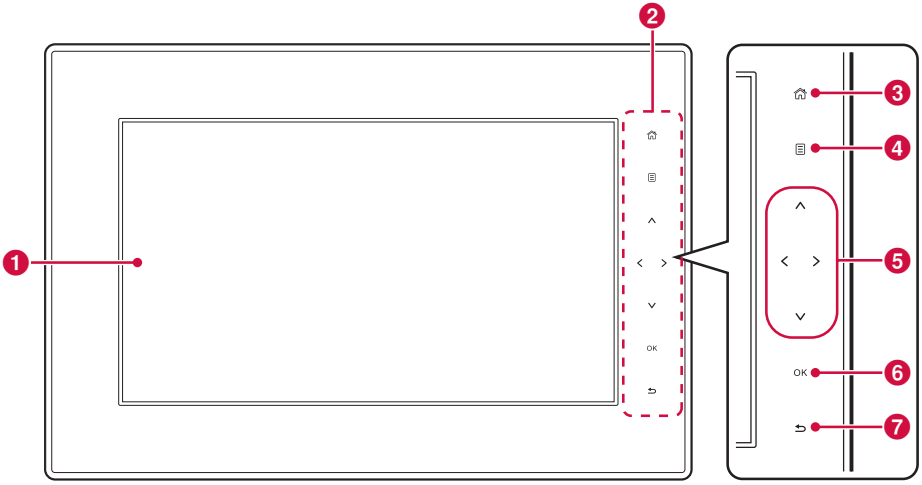
■ 試供品

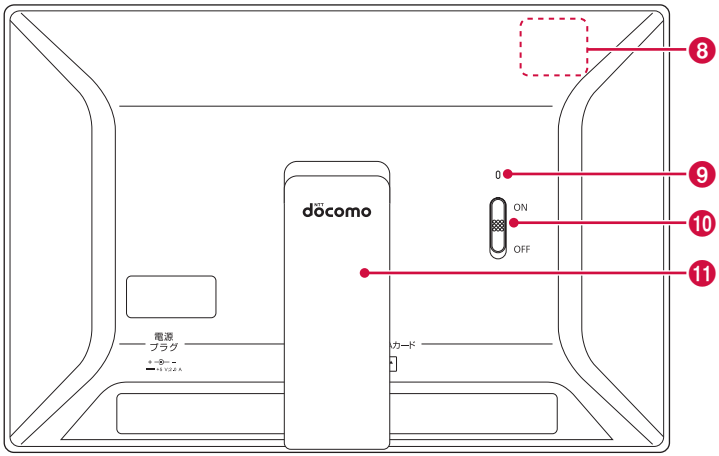
SDカード（2Gバイト）
（取扱説明書付き）

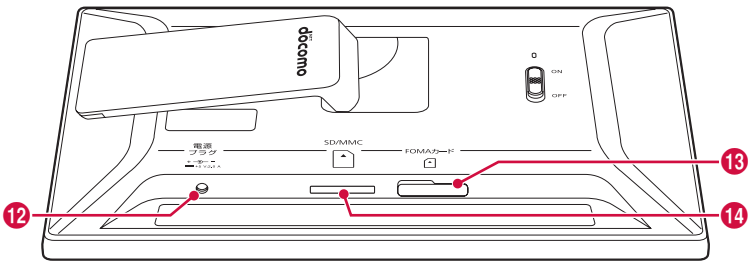
ご使用前の確認

各部の名称と機能 14
メニューの選択方法. 16
FOMA カードを使う 18
フォトパネルを設置する 20
電源を入れる／切る. . . . . ＜電源 ON ／ OFF＞ 21
電波の受信レベルを確認する. 23
自分の電話番号を確認する 24

各部の名称と機能


1
2
3
4
5
6
7
OK


8
9
10
11
docomo
ON
OFF
電源
プラグ


12
13
14
docomo
SD/MMC
電源
プラグ

① ディスプレイ

※ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

② タッチボタン部分

• 指で触れて（タッチ）操作します。→P.17

※タッチボタン消灯時は、いずれかのボタンにタッチすると、点灯して操作できる状態になります。

③ ホームボタン

• ホームメニューを表示します。→P.16

④ メニューボタン

• 機能メニューを表示します。→P.17

⑤ 方向ボタン

∧/∨（上下ボタン）

• 受信したメッセージが表示しきれないときに、表示をスクロールします。→P.26
• 一覧画面の写真の選択枠を上下方向に移動します。→P.36
• メニューなどの選択項目を上下方向に移動します。

＜/＞（左右ボタン）

• スライドショー表示中に前後の写真を表示します。→P.29
• 一覧画面の写真の選択枠を左右方向に移動します。→P.36
• 本体設定メニューの選択項目などを左右方向に移動します。

⑥ OK OKボタン

• メニュー項目など、選択項目を決定します。

⑦ 戻るボタン

• メニューなどの表示を1段階前に戻します。

※ 変更済みの設定を変更前の状態に戻すことはできません。

⑧ 内蔵アンテナ

• アンテナが内蔵されています。より良い条件で電波を受信するために、この部分を覆わないようにしてお使いください。

⑨ 電源ランプ

• 電源が入っているときに点灯します。

⑩ 電源スイッチ

• 電源を入れたり、切ったりします。→P.21

⑪ スタンド→P.20

⑫ 接続端子

• 付属のACアダプタを接続します。→P.21

⑬ FOMAカードスロット

• FOMAカードを取り付けます。→P.18

⑭ メモリカードスロット

• SDカード／SDHCカードなどを取り付けます。→P.51

メニューの選択方法

ホームメニューから機能を選択する

写真を見たり、各種設定などを行ったりするときには、ホームメニューを表示させ、項目を選択します。

1 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 / をタッチしてメニュー項目を選び OK をタッチする

- ホームメニューから選択できるメニュー項目や機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P.74

お知らせ

- データのバックアップ中や復元中など、本体の動作状況によってはホームメニューが表示できない場合があります。
- ホームメニューの表示後、約30秒本体を操作しなかった場合は、自動的にスライドショー(P.22)が表示されます。

機能メニューから機能を選択する

スライドショー表示中や写真の一覧画面などで機能を呼び出す場合は、機能メニューを表示させ、項目を選択します。

1 機能を呼び出したい画面で 目 をタッチする

機能メニューが表示されます。

- 使用中の機能および条件によっては、機能メニューが表示されません。

2 ∧ / ∨ をタッチして項目を選び OK をタッチする

選択した機能が起動します。

- 項目を選ばずに機能メニューを閉じる場合は、 目 または ⮌ をタッチします。

タッチボタンの操作の表記について

本書では、タッチボタンの操作を、次の赤枠内のようにボタンを示すマークを使って表記しています。

〈例〉スライドショー表示中に本体設定画面を表示させる操作の場合

1 スライドショー表示中に 目 をタッチする

2 ∧ / ∨ をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

■ ∧ / ∨ をタッチしてメニュー項目などを選んで OK をタッチする操作を続けて行うときは、次のように表記します。

3 ∧ / ∨ と OK で「スライドショーの設定」→「再生順」→「ランダム」を順に選択する

●タッチボタン利用上のご注意

タッチボタンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。

次の場合はタッチボタンに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードが取り付けられていないと、本体で写真やメッセージを受け取ることができません。

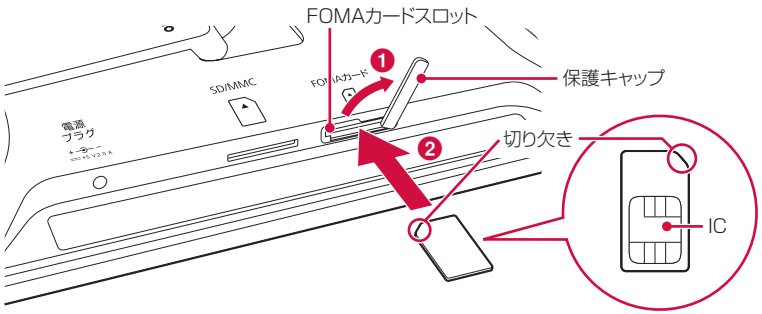
- FOMAカード（青色）は使用できません。
- 本体でお便りフォトサービスをご利用になるには、専用の料金プランのご契約が必要になります。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは電源を切ってから取り付け／取り外ししてください。→P.21、22

- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないでください。

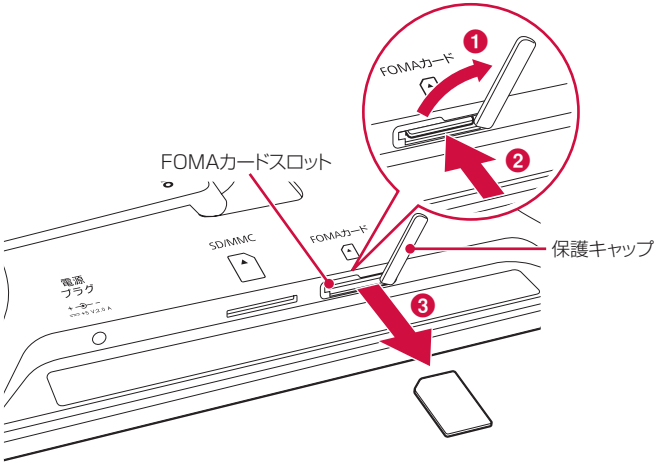
■取り付けかた



1 FOMAカードスロットの保護キャップを上図の❶の方向に開き、FOMAカードのIC部分を下にして、❷の方向にゆっくりとスロットの奥まで差し込む

2 FOMAカードスロットの保護キャップを閉じる

■取り外しかた



1 FOMAカードスロットの保護キャップを上図の❶の方向に開き、FOMAカードを❷の方向にスロットの奥まで押し込んでから離す

押し込むとFOMAカードが少し出てきます。

2 FOMAカードを上図の❸の方向へまっすぐ抜き取る

3 FOMAカードスロットの保護キャップを閉じる

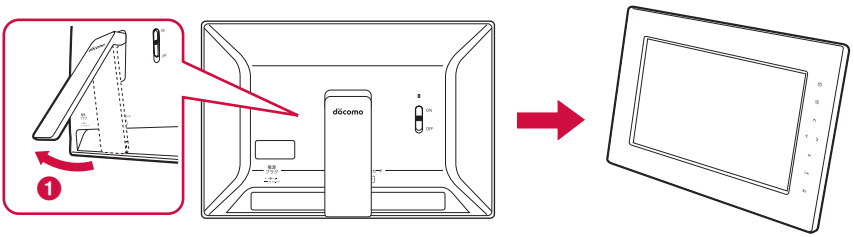
フォトパネルを設置する

スタンドの引き出しかたを変えて、本体を横向き、または縦向きに置くことができます。

- 本体の設置の向きに応じて、写真の表示方向も自動的に縦／横に切り替わります。

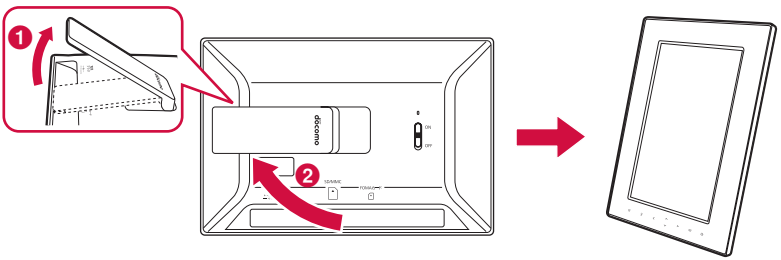
横向きに置く場合

スタンドを下図のように❶の方向に起こして、本体を横向きに置きます。



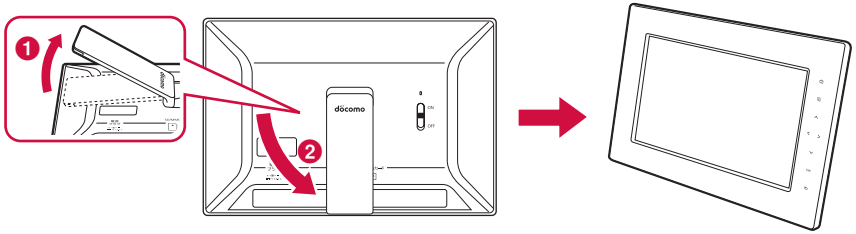
縦向きに置く場合

スタンドを下図のように❶の方向に起こして、❷の方向に止まるまで回転させ、本体を縦向きに置きます。



■ 縦向きに置かれている本体を横向きに置く場合

スタンドを下図のように❶の方向に起こして、❷の方向に止まるまで回転させ、本体を横向きに置きます。



お知らせ

- スタンドは、P.20の図の方向以外に回転させないでください。故障の原因となります。
- スタンドは、しっかり起こしてから、必ず止まる位置まで確実に回転させてご使用ください。起こしかたや回転のさせかたが不十分な場合は、本体が倒れる場合があります。
- フォトパネルを設置する際は、しっかりと固定させてください。

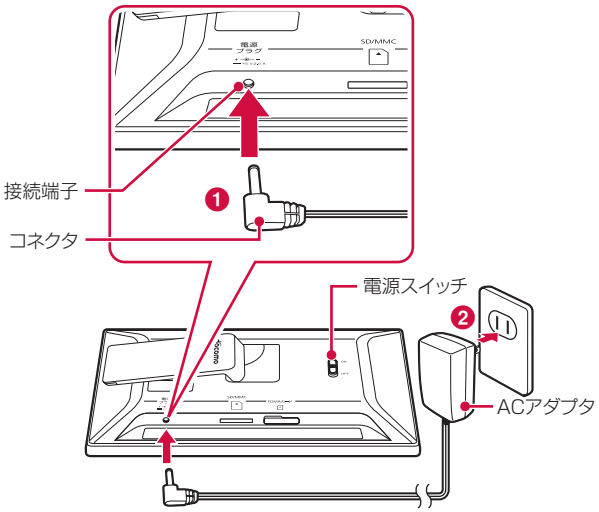
電源ON／OFF

電源を入れる／切る

ACアダプタを接続する

本体の電源を入れるには、まずACアダプタを接続します。

- ACアダプタは、AC100Vから240Vまで対応しています。



1 付属のACアダプタのコネクタを本体底面の接続端子に差し込む（❶）

- ACアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（❷）

お知らせ

- 使用中に本体やACアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

電源を入れる

1 背面の電源スイッチを「ON」の位置にスライドさせる

電源が入ると起動画面に続いて、本体に保存されている画像が受け取った日時の新しいものから順に自動的に切り替わって表示されます（スライドショー）。

- お買い上げ時、電源が入ると、起動画面に続いて本体をお使いになるための準備をご案内する画像が表示されます。画像は、写真やメッセージを受け取ったり、SDカードから本体に写真を保存したりすると表示されなくなります。

お知らせ

- お買い上げ時、初めて電源を入れた後、自動的にお便りフォトサービスの登録に必要なサービス登録番号が送られてきます。お便りフォトサービスについて詳しくは、別冊の「ご利用ガイドブック」をご覧ください。

電源を切る

1 背面の電源スイッチを「OFF」の位置にスライドさせる

終了画面が表示され、電源が切れます。

- 本体をしばらく使用しない場合は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

お知らせ

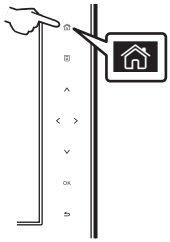
- 写真の受け取り中など、通信中に電源スイッチを「OFF」にすると、写真や情報の受け取りに失敗する場合がありますので、ご注意ください。

電波の受信レベルを確認する

電波の受信レベルを確認するには、ホームメニューを表示させます。

1 をタッチする

ホームメニューの右上に電波の受信レベルを示すマークが表示されます。



- 圏外 が表示されているときは、電波を受信できないため、写真を受け取ることができません。本体を 圏外 が表示されない場所に設置してください。
- 電波の受信レベルが (強) の場合でも、電波の受信状況などの条件によっては、写真を受け取れないことがあります。

お知らせ

- 本体設定画面で電波の受信レベルを確認することもできます。→P.24

自分の電話番号を確認する

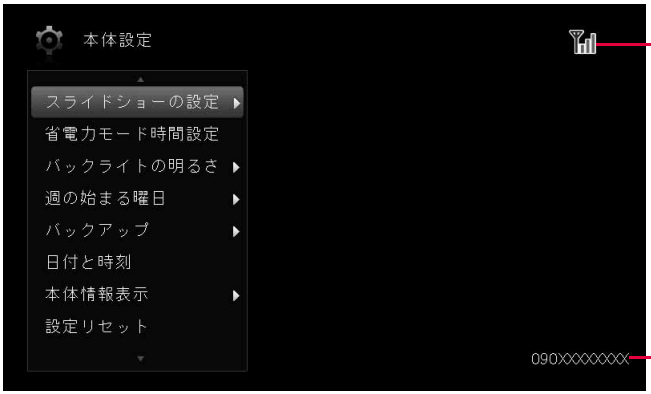
FOMAカードに登録されている本体の電話番号を確認するには、本体設定画面を表示させます。

1 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 / をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

FOMAカードに登録されている電話番号が表示されます。



3 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードが挿入されていない旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→P.18、P.21